

## 地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和5年5月31日

提出区分	実績	整理番号	3	課題区分	C		
横断的な課題	リニア新時代に向けた南信州への移住・定住の促進、人材の確保						
地域重点政策	南信州暮らし応援隊等による移住者増に向けた取組・つながり人口の創出					南信州地域振興局	
実施機関	南信州地域振興局			担当課	所属	リニア活用・企画振興課	
事業名	南信州暮らし応援隊による移住・定住促進事業				電話	0265-53-0401	
				E-mail	<a href="mailto:minamichi-kikaku@pref.nagano.lg.jp">minamichi-kikaku@pref.nagano.lg.jp</a>		
事業の概要等	目的 (目指す姿)	南信州の魅力各市町村、広域連合と連携して効果的に発信することで興味関心を持ってもらい、当地域への移住者を増やす。					
	現状と課題	<p>《現状》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当地域への移住者の出身地やイベント参加者の居住地の傾向を見ると、中京圏の出身者や参加者が多く、関東圏での「南信州」の知名度が低いことが伺える。</li> <li>・管内には小規模町村が多く、町村単位の取組みでは発信力が弱く、また十分なPR活動ができない状況。</li> </ul> <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村、広域、地域振興局で構成される南信州暮らし応援隊による首都圏でのイベント活動に取り組み、『南信州』の知名度を高め、移住者を呼び込んでいくことが課題となっている。</li> </ul>					
	内容 (変更後の内容)	<p>南信州暮らし応援隊(南信州地域振興局、南信州広域連合、管内市町村で構成)が参画する、南信州担い手プロデュース主催の、首都圏で開催される移住者増に向けた情報発信イベントへの参加。及び上伊那広域連合が主催する伊那谷移住イベントへ南信州からも参加することで情報発信と個別相談に応じる。</p> <p>※昨年度は新型コロナウイルス感染症対策のためオンライン開催となった。</p> <p>【まるごと南信州フェアin新宿・2022夏】</p> <p>情報発信と併せ、南信州の特産品を取り揃えた物産展を開催し、移住に興味を持った方にはその場で相談に応じる</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 開催日 令和4年7月20日(火)～23日(土)</li> <li>2 開催場所 JA東京アグリパーク</li> </ol> <p>【長野・伊那谷移住相談会】</p> <p>上伊那広域連合の主催する伊那谷の移住相談会に管内市町村と参加し、興味をもった参加者へPRを行う</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 開催日 令和4年11月19日(土)</li> <li>2 開催場所 ふるさと回帰支援センター</li> </ol> <p>【まるごと南信州フェアin新宿・2023冬】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 開催日 令和5年1月5日(木)～7日(土)</li> <li>2 開催場所 JA東京アグリパーク</li> </ol>					
事業期間	令和4年7月			～	令和5年2月		
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考			
	情報発信イベント・移住相談会への職員参加旅費	職員旅費	29,530				
	合計		29,530				
目標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況		
	イベントに参加し、移住相談された方の人数		50	25人	○ 達成 ○ 一部達成 ● 未達成		
事業実績・成果	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○まるごと南信州フェアin新宿・2022夏(JA東京アグリパーク、令和4年7月20日(火)～23日(土)) 農住相談:4件</li> <li>○伊那谷移住セミナー(ふるさと回帰支援センター、令和4年11月19日(土)) 来場者数:19人</li> <li>○まるごと南信州フェアin新宿・2023冬(JA東京アグリパーク、令和5年1月5日(木)～7日(土)) 農住相談:2件</li> </ul> <p>【成果】</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大に伴う人流減少の影響等により、相談者数は目標値を下回ったものの、当地域に興味を持ってくれた方もおり、移住者、つながり人口創出に繋がる良い機会となった。</p>						
今後の方向性	移住者増加に加え、つながり人口の創出に向けて地域全体で取り組む						